

平成29年度

事務事業評価表 A (平成28年度の実績評価)

記入年月日
平成 29 年 3 月 31 日

事務事業名		報道機関連絡事業				事業区分		担当	
						新規/継続	新規	事務事業No.	010401000946
						単独/補助	単独	所属課	010101
政策体系	総合計画の施策名	0104 市民協働のまちづくり				主要事業	対象外		秘書広報課
	政策名	01 市民と行政による豊かな地域の自治づくり				市長マニフェスト	対象外		
	施策名	04 市民協働のまちづくり				未来PJ事業	対象外	グループ	秘書広報課
	基本事業名	01 広報広聴の充実				合併建設計画事業	対象外		
財務会計上の位置付け						事業期間			
予算科目	会計	款	項	目	事業	細	一般会計		
	01	02	01	04	01	00	広報広聴事業		
法令根拠						桜川市報道機関連絡マニュアル			
【Do】 1. 事務事業の現状把握 (その1)									

手段	① 事務事業の概要 (事務事業の全体像)					② 担当者が行う業務の内容・やり方・手順				
	<ul style="list-style-type: none"> 「桜川市報道機関連絡マニュアル」に基づき、報道機関からの取材依頼の取次・協議・調整を一元的に管理する。 プレスリリースを通じて、市からの情報発信を行う。 市のPRに繋げる。 					<ul style="list-style-type: none"> 「桜川市報道機関連絡マニュアル」に基づき、報道機関からの取材依頼の取次・協議・調整を一元的に管理する。 プレスリリースの情報収集・作成・校正・情報発信を行う。 				

(2) 事務事業の手段・対象・意図と各指標、指標値の推移										
① 手段 (担当者の活動内容)		④ 活動指標 (活動量を表す指標)			単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
<ul style="list-style-type: none"> 「桜川市報道機関連絡マニュアル」に基づき、報道機関からの取材依頼の取次・協議・調整を一元的に管理する。 プレスリリースの情報収集・作成・校正・情報発信を行う。 		取材依頼件数			件	0.00	10.00	20.00	20.00	20.00
		プレスリリース依頼件数			件	56.00	54.00	65.00	65.00	65.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
② 対象 (誰、何を対象にしているのか)		⑤ 対象指標 (対象の大きさを表す指標)			単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
報道機関		取材取次件数			件	0.00	10.00	20.00	20.00	20.00
		プレスリリース発信件数			件	56.00	54.00	65.00	65.00	65.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
③ 意図 (この事業によって対象をどう変えるのか)		⑥ 成果指標 (対象における意図の達成度を表す指標)			単位	27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)
市のPRに繋がります。		報道件数			件	0.00	10.00	20.00	20.00	20.00
		プレスリリース掲載件数			件	30.00	40.00	50.00	50.00	50.00
						0.00	0.00	0.00	0.00	0.00

(3) 投入量 (事業費) の推移				27年度 (実績)	28年度 (実績)	29年度 (計画)	30年度 (目標)	31年度 (目標)	期間限定 総投入量	
投入量	事業費	財源内訳	国庫支出金	千円	0	0	0	0	0	0
			県支出金	千円	0	0	0	0	0	0
			地方債	千円	0	0	0	0	0	0
			使用料・手数料	千円	0	0	0	0	0	0
			その他	千円	0	0	0	0	0	0
			一般財源	千円	0	0	0	0	0	0
	事業費計 (A)	千円	0	0	0	0	0	0		
人件費	正規職員従事人数		人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人	2.00人		
	述へ業務時間		時間	63.00	157.30	160.00	100.00	100.00		
	人件費計 (B)		千円	183	456	464	290	296		
トータルコスト (A)+(B)			千円	183	456	464	290	296		

事業費の内訳	28年度事業費 実績 (千円)				29年度事業費 予算 (千円)			
				合計	0			合計

(4) 当該年度の実施内容		29年度の事業内容		30年度の事業内容		31年度の事業内容	
※下記に該当する事業は、年度ごとに事業内容を記入する ・主要事業 ・市長マニフェスト ・未来PJ事業 ・合併建設計画事業							

事務事業名	報道機関連絡事業	事務事業No.	10401000946	所属課	秘書広報課
-------	----------	---------	-------------	-----	-------

【Do】 1. 事務事業の現状把握(その2)

(5) この事務事業を開始したきっかけは、いつ頃どんな経緯で開始されたのか? 開始時期あるいは5年前と比べてどう変わったのか? 平成28年1月放送の情報番組での放送内容が発端となり、情報の一元化を図ることを目的に平成28年度から開始されるものです。
(6) この事務事業に対して関係者(住民、議会、事業対象者、利害関係者)からどんな意見や要望が寄せられているか? 平成28年第1回桜川市市議会定例会で情報の一元化の意見が寄せられました。
(7) 前回の事務事業評価に対する改革・改善の具体的内容 今年度から新たに開始する事業であり、適宜に改革、改善を行うことが必要と思われます。
改革改善を行う

【See】 2. 評価の部 *原則は事前評価。

評 価 項 目	
目的 妥当性	①政策体系との整合性 (この事務事業の目的は市の政策体系に結びつくか?意図することが結果に結びついているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 結びついている プレスリリースを通じて市からの情報発信を行うこと、報道機関からの取材依頼等を一元的に管理することは、市のPRに繋げることであり、広報広聴の充実につながります。
有効性	②公共関与の妥当性 (なぜこの事業を市が行わなければならないのか?税金を投入して、達成する目的か?) (法定受託事業はその名称) <input checked="" type="checkbox"/> 妥当である 市のPRに繋がりますことであり、市が行うことは妥当である。
有効性	③成果の向上余地 (成果を向上させる余地はあるか?成果の現状水準とあるべき水準との差異はないか?何が原因で成果向上が期待できないのか?) <input checked="" type="checkbox"/> 向上余地がある 平成28年度から開始した事業であり現時点では手探りの状況であるため、課題点を把握し、適宜に改革・改善を行い成果を向上させることが必要と思われます。
有効性	④廃止・休止の成果への影響 (事務事業を廃止・休止した場合の影響の有無とその内容は?) <input checked="" type="checkbox"/> 影響有 報道機関を通じての市のPRが出来なくなります。
有効性	⑤類似事業との統廃合・連携の可能性 (類似事業や統廃合の可能性はありますか? (市以外の取り組みも含む)) (他に手段がある場合) ⇨ 具体的な手段、事務事業名 <input checked="" type="checkbox"/> 余地がない 他に類似事業はなく、統廃合・連携は出来ません。
効率性	⑥事業費・人件費の削減余地 (成果を下げずに事業費を削減できないか?やり方を工夫して延べ業務事業を削減できないか?) <input checked="" type="checkbox"/> 削減余地がない 事業費は計上してありません。人件費は広報担当者の2名で行っているため、削減の余地はございません。
公平性	⑦受益機会・費用負担の適正化余地 (事業の内容が一部の受益者に偏っていて不公平ではないか?受益者負担が公平・公正になっているか?) <input checked="" type="checkbox"/> 公正・公平である 市の情報発信や取材対応の事業であるため、公平・公正です。

【Plan】 3. 評価結果の総括と今後の方向性(次年度計画と予算への反映)

(1) 1次評価者としての評価結果 ①目的妥当性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ②有効性 <input type="checkbox"/> 適切 <input checked="" type="checkbox"/> 見直し余地あり ③効率性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり ④公平性 <input checked="" type="checkbox"/> 適切 <input type="checkbox"/> 見直し余地あり	(2) 全体総括(振り返り、反省点) 平成28年10月1日に「桜川市報道機関連絡マニュアル」を作成し、全職員に周知を図りました。 また、第2回目の広報主任勉強会において、各課の広報主任に説明を行いました。																					
(3) 今後の事業の方向性 <input type="checkbox"/> 終了 <input checked="" type="checkbox"/> 継続 <input checked="" type="checkbox"/> 改革改善を行う <input type="checkbox"/> 現状維持 <input type="checkbox"/> 廃止 <input type="checkbox"/> 休止	(4) 改革・改善による期待成果 (終了・廃止・休止の場合は記入不要) <table border="1"> <tr> <td colspan="2" rowspan="2"></td> <td colspan="3">コスト</td> </tr> <tr> <td>削減</td> <td>維持</td> <td>増加</td> </tr> <tr> <td rowspan="3">成果</td> <td>向上</td> <td></td> <td>○</td> <td></td> </tr> <tr> <td>維持</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> <tr> <td>低下</td> <td></td> <td></td> <td>×</td> </tr> </table>			コスト			削減	維持	増加	成果	向上		○		維持			×	低下			×
				コスト																		
		削減	維持	増加																		
成果	向上		○																			
	維持			×																		
	低下			×																		
(5) 改革、改善を実現する上で解決すべき課題(壁)とその解決策 平成28年度から開始した事業であり現時点では手探りの状況であるため、課題点を把握し、適宜に改革・改善を行い成果を向上させることが必要と思われます。																						
(6) 事務事業優先度評価結果 成果優先度評価結果 コスト削減優先度評価結果																						

【Check】 4. 確認及び改革改善に向けての指摘事項

(1) 課長評価 課長確認後の評価 <input checked="" type="checkbox"/> B A:継続(現状維持) C:終了、廃止、休止 B:継続(改革改善を行う) D:2次評価へ提出	(2) 部長確認及び評価 (課長評価により、C、D判定及び確認が必要な場合) 確認欄 <input type="checkbox"/>
--	---